

# 令和7年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## 2年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	<b>名づけられた葉</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ◎詩にこめられたものの見方を捉え、自分の考えを深める。(Cオ) ○詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・繰り返し使われている言葉と、リズムを意識しながら音読する。 ・本文中のたとえについて、内容を捉える。 2 2 詩にこめられたものの見方を捉える。 ・それぞれの連に描かれていることをまとめ、それらの関係を考える。 →思考の方法【関連づける】 ・詩のメッセージを捉え、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを伝え合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		<b>セミロングホームルーム</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう ①</b> <b>人物設定</b> 4時間 ◎人物の設定の仕方を捉える。(Cア) ○表現や構成の工夫とその効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を読んで感じたことを共有する。 →■二次元コード■ ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・読んで感じたことを本文の表現と結びつけながら発表する。 2 2 人物の設定の仕方を捉える。 ・登場人物を書き出し、人物どうしの関係や言動を整理する。 →読み方を学ぼう① 人物設定 ■二次元コード■ 3 3 人物の言動の意味や役割について考える。 ・最後の場面のトリノの心情について考えを発表し合う。 ・この話の「主人公」は誰だと考えるか、理由とあわせて話し合う。 →思考の方法【多角的に見る】 4 4 表現や構成の工夫とその効果について考えを深める。 ・表現や構成の工夫とその効果について考え、文章にまとめる。 ・考えたことを共有し合って深める。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。</u> (Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 1</b> <b>話し言葉と書き言葉</b> 1 時間 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し言葉の特徴について考える。 2 書き言葉の特徴について考える。 →■二次元コード■ 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。((1)イ) <b>主</b> ・進んで話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
5		<b>グループディスカッション</b> <b>互いの考えを尊重しながら話し合いを深める</b> <b>【話す・聞く】</b> 4 時間 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ○相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 →■二次元コード■ 2 話し合いを深めるための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。 3 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(Aエ)</b> <b>主</b> ・積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。 (Aイ)
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</b> <b>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	<b>読み方を学ぼう②</b> <b>説明文の論理展開</b> 宇宙に行くための素材 <b>【読む(論説)】</b> 1時間 ◎文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・問いと答えを捉える。 ・本論の論理展開を捉える。 ・なぜ、「段階的な問い」が必要かについて考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	(※「人間は他の星に住むことができるのか」と合わせて評価する。)	-
		<b>人間は他の星に住むことができるのか</b> <b>【読む(論説)】</b> 4時間 ◎文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。(Cエ) ○主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・他の星に移り住むための重要な条件を本文から書き抜く。 ・四つの天体についての筆者の判断とその根拠を表に整理する。	<b>知・技</b> <b>①</b> 話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) <b>②</b> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)
2-3	2	2 文章の構成や論理の展開、その効果について考える。 ・筆者の表現の工夫とその効果について考える。 ・筆者の論の進め方の効果について、「宇宙へ行くための素材」と比較して考える。 → <b>読み方を学ぼう②</b> 説明文の論理展開	<b>思・判・表</b> <b>①</b> 「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ)</u> <b>②</b> 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア)			
4	3	3 筆者の考えに対して自分の考えをもち、交流して深め合う。 ・問いに対する筆者の答えについて、自分の考えをまとめる。 ・考えたことをグループで話し合う。 → <b>思考の方法[理由づける]</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル	<b>主</b> ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。			

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>手紙・メール</b> 心をこめてわかりやすく書く <b>【書く】</b> 4 時間 ◎読み手の立場に立って読み返し、内容が正しくわかりやすく伝わるように文章を整える。(Bエ) ○相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 伝える相手を決め、伝えたい事柄や気持ちを明確にする。 ・誰に伝えるかを決める。 ・相手に伝えたい情報や気持ちを決める。 ・手紙で伝えるか、メールで伝えるかを決める。 2 手紙の形式をふまえて下書きをする。 ・「手紙の例」や「メールの例」を参考にして、形式(作法)を確認する。 ・言葉遣いに注意して、心をこめてわかりやすく書く。 →■二次元コード■ 3 読み手の立場に立って読み返し、推敲して文章を整える。 ・読み手の立場に立って読み返し、構成や表現、表記などを確認する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・グループで読み合い、アドバイスを交換する。 4 丁寧に清書し、確認して投函(送信)する。 ・丁寧に心をこめて清書する。 ・不備がないか確認し、投函(送信)する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。((1)カ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) <b>主</b> ・粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(Bイ)
		<b>言葉発見 2</b> <b>言葉のはたらきとコミュニケーション</b> 1 時間 ◎言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(知・技(1)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 3 SNSによるコミュニケーションについて理解する。→■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) <b>主</b> ・進んで言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう②</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
7	3 ものの見方・感性を養う	<b>短歌の世界／短歌十首</b> <b>【読む(解説/短歌)】</b>  <b>コラム</b> <b>音の数え方と句切れ</b>  <b>読み方を学ぼう③ 想像</b> 3時間  ◎心情を表す表現や情景を捉え、短歌を読み味わう。(Cオ) ○観点を明確にして短歌を比較するなどして、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 短歌のリズムや表現方法などの特徴を捉える。 ・「短歌の世界」を通読して、内容を捉える。 ・短歌の特徴を書き出す。 ・「短歌の世界」の二首の短歌を音読する。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) ②「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ)  <b>主</b> ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
2	2 情景や心情を表す語句に注意して、短歌についての理解を深める。 → <b>読み方を学ぼう③ 想像</b> <b>■二次元コード■</b> ・「短歌十首」について、意味の切れめや調子に注意しながら音読する。 ・「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選び、情景や心情をまとめる。					
3	3 表現の工夫や効果をふまえて考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・選んだ短歌の魅力について、表現の工夫や効果をふまえて自分の考えをまとめる。 ・考えたことを伝え合う。 → <b>思考の方法[比較する]</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 → <b>■二次元コード■ 参考資料／デジタル漢字ドリル</b>  〈学びを広げる〉 → <b>書</b> く「短歌・俳句」へ ・日常で体験したことを短歌にする。					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>短歌・俳句 表現の仕方を工夫して 豊かに表す</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(B才) ○情景や心の動きが伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 題材を選び、情景を短い文章で表現する。 ・心に残っていることや、気づいたことなどについて、短い文章を書く。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B才)</b> <b>②「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</b> <b>主</b> ・粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	短歌や俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
2	2 情景の表現に必要な言葉を取り出し、五音・七音に整える。 ・短い文章から、短歌に使用したい言葉を取り出す。 ・取り出した言葉をもとに五音・七音の言葉にする。 ・言葉を組み合わせ、五七五七七の形にする。					
3	3 情景や感動が伝わるように、表現を工夫する。 ・順序を入れ替えたり、別の言葉に替えたり、比喩を用いたりする。 →思考の方法【順序立てる】 ・グループで交流し、表現を工夫する。					
4	4 短歌とはじめの短い文章とを比べ、推敲する。 ・短歌とはじめに書いた短い文章とを読み比べる。 ・納得できる表現になるまで推敲する。					
5	5 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。 ・発表会や合評会を開いて交流する。 ・短い感想を書き、作者に伝える。 ・それぞれが作った短歌のよいところを見つけ、自分の表現に生かす。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					
		<b>文法の窓 1 用言の活用</b> 3時間 ◎用言の活用について理解する。(知・技(1)才)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で、後ろにつく語によって用言がどのように形を変えるか考える。 2 「文法のまとめ」1「用言の活用」で、用言の活用について理解する。 3 「確認しよう 練習問題 1」の課題に取り組む。→■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>単語の活用について理解している。((1)才)</u> <b>主</b> ・進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>壁に残された伝言</b> <b>【読む(報告)】</b> 3時間 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ) ○文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・「伝言」が「発見された経緯」について整理する。 ・「伝言」が「白黒逆転して現れた事情」について整理する。 2 2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつける。 ・伝言が、二十世紀の終わりに出てきたことの意味について考える。 ・関係者たちが、「ああそうだったのか」とつぶやいた理由について、交流する。 3 3 筆者の思いをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「伝言」についての筆者の見方や思いを比較する。 ・最後の一文にこめられた筆者の思いについて話し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> ②「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア) <b>主</b> ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)
		<b>私の読書体験</b> <b>生涯の友と出会う</b> <b>【読む】</b> 1時間 ◎本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書を通して自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)エ、Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 ・学校図書館などで本を選んで読むことへつなげる。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ)</u> <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう③ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
9	4 論理的に考える	味は味覚だけでは決まらない 【読む(論説)】 読み方を学ぼう④ 図表と文章 4 時間 ◎図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ) ○文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を読んで内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・「味」と「基本味」について、本文から必要な情報を抜き出してまとめる。 ・本文の記述をもとに、舌と舌以外の感覚のはたらきについてまとめる。 2 2 筆者の考えを捉え、話し合っって自分の考えを深める。 ・「味覚」「嗅覚」「触覚」「聴覚」「視覚」の順序で説明していることについて考える。 →思考の方法[順序立てる] 3 3 文章と図表とを結びつけて内容を捉え、図表の効果を考える。 ・図表が果たしている効果やはたらきについて、文章との対応に着目して考える。 →読み方を学ぼう④ 図表と文章 ■二次元コード■ ・考えたことを交流する。 4 4 文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、考えを広げる。 ・味覚以外の感覚の影響について考える。 ・考えたことを共有し、自分の考えを広げる。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 主 ・進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見 3 敬語の意味と種類 1 時間 ◎敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使う。(知・技(1)カ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) ②言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア) 主 ・進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p><b>プレゼンテーション</b> 資料や機器を活用して 効果的に発表する</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>5 時間</p> <p>◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する。(Aウ)</p> <p>○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aイ)</p>	1	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 社会生活の中から題材を決め、内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手と目的を決める。</li> <li>・身のまわりのできごとや社会生活の中からテーマを探す。</li> <li>・アイデアを出し合っ、内容を考える。</li> <li>→思考の方法[具体化・抽象化する]</li> </ul> <p>2 聞き手にわかりやすく伝えるために必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにそって必要な情報を考える。</li> <li>・調査方法を検討し、情報を集める。</li> <li>→■二次元コード■</li> </ul> <p>3 資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を整理・加工して提示資料を作る。</li> <li>・効果的な伝え方を考え、プレゼンテーションの構成と役割を決める。</li> <li>・リハーサルを行う。</li> <li>→■二次元コード■</li> </ul> <p>4-5 4 相手や目的に応じた伝え方を工夫してプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを行う。</li> <li>・互いのプレゼンテーションについて評価し合う。</li> </ul> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>①話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ)</p> <p>②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、<u>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝えるように表現を工夫している。</u>(Aウ)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)</p> <p>主</p> <p>・積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案をしようとしている。</p>	説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)
		<p><b>漢字を身につけよう④</b></p> <p>1 時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p>知・技</p> <p>①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、<u>その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。</u>また、<u>学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u>((1)ウ)</p> <p>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p>主</p> <p>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
10	5 古典に学ぶ	枕草子・徒然草 【読む(古文)】 4時間 ◎文章を読んで考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深める。(Cオ) ○それぞれの作品の特徴を生かして音読し、古典に親しむ。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、内容を捉える。 →■二次元コード■ ・意味の切れめに注意して音読し、内容を捉える。	<b>知・技</b> <b>①</b> 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) <b>②</b> 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> <b>主</b> ・進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌や小説などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
2	2 「枕草子」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者が「をかし」と評価しているものについて捉える。 ・筆者が「うつくし」と指摘しているものを捉え、自分の感じ方と比べる。					
3	3 「徒然草」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者の「先達はあらまほしきことなり。」の言葉について考える。 ・「この戒め」が指す内容について説明する。					
4	4 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。 ・清少納言と兼好法師の見方や感じ方について、考えたことを文章にまとめる。 ・書いたことをもとに、考えを共有し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・他の章段を読んで好きな章段を選び、紹介し合う。 →■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル/補充教材					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>平家物語 【読む(古文)】</p> <p>読み方を学ぼう⑤ 物語の転換点</p> <p>コラム あの人の歌 5時間</p> <p>◎場面の展開や状況を捉え、表現や構成の工夫と効果について考える。(Cエ)</p> <p>○語句の意味に注意しながら音読し、古典のものの見方や感じ方を捉える。(知・技(3)ア)</p>	1-2	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 →■二次元コード■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭部分を音読する。</li> <li>・「敦盛の最期」の背景を確認する。</li> <li>・登場人物の特徴を捉える。</li> <li>・人物の様子を思い描きながら朗読する。</li> </ul>	<p>知・技</p> <p>①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)</p> <p>②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)</p>	<p>詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)</p>
		3-4	<p>2 場面や状況を捉え、登場人物の行動や心情について考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大將軍(敦盛)を見つけたときの熊谷の気持ちについて話し合う。</li> <li>・敦盛を助きたいという熊谷の心情と、状況を捉え、話し合う。</li> <li>・味方の軍勢が駆けつけてくるのに気づいたときの熊谷の心情について話し合う。</li> <li>・物語の展開の仕方やその効果について考える。</li> </ul> <p>→読み方を学ぼう⑤ 物語の転換点 ■二次元コード■</p>	<p>思・判・表</p> <p>・「読むこと」において、<u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u>(Cエ)</p>		
			5	<p>3 古典に表れたものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「冒頭(祇園精舎)」と「敦盛の最期」とを読み直す。</li> <li>・冒頭部分で提示されたものの見方・考え方を確認する。</li> <li>・「敦盛の最期」で具体的に説明できるところをあげる。</li> <li>・自分の考えを文章にまとめる。</li> </ul> <p>→思考の方法[具体化する]</p> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平家物語の世界を更に深く味わう。</li> </ul> <p>→資料編 読書の広場「那須与一」 →■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル</p>	<p>主</p> <p>・進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。</p>	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢詩の世界</b> <b>【読む(漢文)】</b>  <b>漢文の読み方</b> <b>漢詩の形式</b> 3 時間  ◎漢詩の表現が、描かれた情景の中で果たす効果について考える。(Cエ) ○語句の意味に注意しながら音読し、漢詩の表現やリズムを捉える。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 →■二次元コード■ ・語句の意味や構成などに注意して音読する。 ・漢詩の形式について確認する。 2 2 作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春暁」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「黄鶴楼にて……」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春望」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 3 3 描かれた情景を捉え、表現の効果を考える。 ・自然を表す表現の効果について考える。 ・考えたことを文章にまとめ、交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ)  <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u> (Cエ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	詩歌などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		<b>漢字のしくみ 1</b> <b>熟語の構成・熟字訓</b> 1 時間  ◎熟語の構成・熟字訓について理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 二字熟語の構成の型を理解する。 2 熟字訓について理解を深める。 →資料編「常用漢字表付表」 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑤</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報 を 関 係 づ け る	<b>マンガ 情報の扱い方</b> <b>【読む(解説)】</b> 1 時間 <b>一〇〇年後の水を守る</b> <b>【読む(論説)】</b> <b>飲み水は不足しているか</b> <b>【読む(論説)】</b> 2 時間 <b>水問題に関する資料</b> <b>【読む(図表)】</b> 1 時間 <b>投稿文</b> <b>複数の情報を関連づけて</b> <b>根拠を明らかに示す</b> <b>【書く】</b> 5 時間  ◎文章と図表などを結びつけ て複数の情報を解釈する。 (Cイ・Cウ) ◎情報と情報との関係のさま ざまな表し方を理解し、伝 えたいことを明確にする。 (知・技(2)イ・Bア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元の目標と活動をつかみ、因果関係に注目することの大切さを理解する。 ・『水問題』って何？ 何が原因？」を読み、水問題について知っていることを話し合う。 ・教材に示された二人の生徒の発言を読み、因果関係に注目することの大切さを理解する。	<b>知・技</b> <b>①情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</b> ((2)イ) <b>②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。</b> ((2)ア)	多様な考え方ができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。 (Bア)
			2	2 資料A「一〇〇年後の水を守る」を読み、筆者の考える水不足の原因と対応策を捉える。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</b> (Bア)	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にしたりする。 (Cア)
			3	3 資料B「飲み水は不足しているか」を読み、筆者の考える水不足の原因を捉え、その対応策を解釈する。	<b>②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</b> (Bオ)	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことを説明したり提案したりする活動。 (Cウ)
			4	4 資料A・Bと資料C「水問題に関する資料」とを関連づけ、水問題についての考えを広げる。 ・資料Aと資料Bの学習を振り返り、両者が考える水問題の焦点やその原因の違いを整理する。 ・資料Cを読み、資料A・Bとも関連づけながら、水問題の現状や原因、対応策について考えを広げる。 →■二次元コード■ ・読み取ったことや調べたことをもとに、水問題について、自分の考えをまとめる。	<b>③「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。</b> (Cイ)	
			5	5 水問題に対する自分の考えを明確にし、原因や具体例、対応策の情報を集める。 ・資料A～Cの内容をふまえ、「水問題で最も重要な問題は〇〇だ」という見出しの一文を決める。 ・資料A～Cや、教科書 156 ページの二次元コードから、自分が選んだ問題の原因や具体例、対応策に関する情報を集める。 →■二次元コード■	<b>④「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。</b> (Cウ)	
			6	6 投稿文の構成や効果的な書き方を学ぶ。	<b>主</b> ・粘り強く情報の整理の仕方について注意して内容を解釈し、学習課題にそって投稿文を書こうとしている。	
		7-8	7 学んだ構成や書き方を生かして、投稿文を書く。 →資料編「著作権と引用」			
		9	8 投稿文を交流し、学習の成果を振り返る。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。			

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>文法の窓 2</b> <b>助詞・助動詞のはたらき</b> 3 時間  ◎助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。(知・技(1)オ)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 2」で助詞・助動詞の特徴について考える。 2 「文法のまとめ」「2 助詞・助動詞のはたらき」で、助詞・助動詞のはたらきや種類について理解する。 3 「文法のまとめ」「3 文の成分の順序と照応」で、文の成分の順序や照応について理解する。 4 「文法のまとめ」「4 文の種類」で、単文、複文、重文の特徴について理解する。 5 「確認しよう 練習問題 2」の課題に取り組む。→■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・助詞や助動詞などのはたらき、 <u>文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。</u> ((1)オ) <b>主</b> ・進んで助詞や助動詞などのはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。</u> また、 <u>学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
12	7 読みを深め合う	<b>大阿蘇</b> <b>【読む(詩)】</b> 2 時間  ◎詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。(Cエ) ○眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 描かれた情景を想像して音読し、眼前に展開する自然の姿を捉える。 ・繰り返されている言葉や言い換えられている言葉に着目して音読する。 ・音や色、動きや広がりを感じ浮かべながら、描かれた情景を捉える。 2 2 詩の表現技法とその効果を理解し、想像豊かに朗読する。 ・この詩の情景にふさわしい読み方について考えたことを交流する。 →思考の方法[理由づける] ・交流を生かして朗読する。 ・詩の表現を比べながら、この詩について考えたことを書く。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章の構成や表現の効果について考えている。</u> (Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) <b>主</b> ・進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 4</b> <b>類義語・対義語、多義語</b> 1時間 ◎類義語・対義語、多義語について理解する。(知・技 (1)エ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 類義語・対義語について理解する。 2 多義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ <b>主</b> ・進んで類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>小さな手袋</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑥ 象徴</b> 4時間 ◎主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ) ○登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品の設定と時間の流れを捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・作品中の時間の流れを確認し、場面ごとにできごとを整理する。 →思考の方法【順序立てる】	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ) ②「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) <b>主</b> ・進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
			2	2 登場人物の人物像と相互関係を捉える。 ・シホと「おばあさん」の人物像を捉える。 ・「おばあさん」にとってシホはどのような存在だったかを考える。		
			3	3 登場人物の心情について考える。 ・シホが「おばあさん」に会いに行かなくなった理由を考え、話し合う。 ・小さな手袋に対するシホと「おばあさん」の思いをそれぞれ捉える。 →読み方を学ぼう⑥ 象徴 ■二次元コード■		
			4	4 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・シホの言動の意味や心情について考える。 ・考えたことを書いて交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  〈学びを広げる〉 →書く「創作文」へ ・登場人物の誰かになって、別の人物に宛てた手紙を書く。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>創作文</b> <b>読みたくなるしくみを工夫する</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、展開や描写などを工夫して書く。(Bイ) ○作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 創作のもとにする作品と創作コースを選ぶ。 ・創作のもとにする作品を決める。 ・もとの作品の特徴を考えながら、創作コースを選ぶ。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</b> <b>②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</b> <b>主</b> ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
2	2 作品の魅力や特徴について研究する。 ・もとにする作品の内容や構成・設定・表現など、読みたくなるしくみを分析する。					
3-4	3 作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 ・構想を練り、読者をひきつける表現の工夫を考える。 → <b>思考の方法【仮定する】</b> ・どの部分を作るかを決める。 ・下書きをし、読者の視点で読み返して修正・改良する。 → <b>■二次元コード■</b>					
5	4 作品を発表し、意見交流を通して考えを広げる。 ・書きあげた作品をグループやクラスで読み合う。 ・もともなった作品の特徴が生かされているところ、新しく加えた発想、表現の工夫などを見つけ合って、楽しむ。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					
		<b>読書活動</b> <b>ビブリオバトル</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 ◎本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。(知・技(3)エ) ○自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫する。(Aイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫して、紹介する内容をまとめる。 ・これまでに自分が読んだことのある本の中から、ビブリオバトルで紹介したい本を選ぶ。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 → <b>■二次元コード■</b> ・聞いた人に本の魅力が伝わるように話の構成を工夫して、5分で紹介できるようにまとめる。	<b>知・技</b> ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</b> <b>主</b> ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)
2-3	2 ビブリオバトルを行う。 ・順番に一人5分間で本を紹介する。 ・発表ごとに、その発表に関するディスカッションを2~3分で行う。 ・「どの本がいちばん読みたくなったか」を基準とした投票を行う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑦ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
1	8 視野を広げる	動物園でできること 【読む(論説)】 読み方を学ぼう⑦ 例示 5 時間 ◎文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア) ◎動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	1 2-3 4 5	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・動物園の「四つの大きな役割」についてまとめる。 2 「学びの場」としての動物園の取り組みについて、本文の内容を整理する。 ・本文で示されている三つの事例について確認する。 ・三つの事例を「楽しみの場」と「学びの場」の両面から捉え、要約する。 →思考の方法[分類する] ・三つの事例の例示の順番とその効果について考える。 ・立場を明確にして、例示の順序について考えを話し合う。 3 主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・表現の工夫と、その効果について考える。 ・筆者の主張を具体的な事例と結びつけて、自分の言葉で説明する。 →読み方を学ぼう⑦ 例示 ■二次元コード■ 4 筆者の主張について、自分の考えを深める。 ・筆者の主張について、自分の知識や経験と関連づけて考えたことをまとめる。 ・考えたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  <学びを広げる> →📖書く「論説文」へ ・「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」という意見について、600 字～800 字の論説文を書く。	知・技 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 主 ・進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	解説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>論説文</b> <b>構成を工夫して</b> <b>考えを伝える</b> <b>【書く】</b>  6 時間 ◎伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、 <b>文章の構成や展開を工夫して書く。</b> (Bイ) ◎ <b>根拠の適切さや表現の効果を</b> 考えて説得力のある文章を書く。(Bウ)	1-2 3-4 5-6	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 ・例を参考にして、取り上げる課題を決める。 ・課題について、自分の結論や主張を一文か二文で書く。 ・理由づけを明確にして、三角ロジックの形で書き出す。 2 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する。 ・主張に対して、予想される反論や、反論への対応などを考える。 ・基本となる文章の構成や展開を決める。 3 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書き、読み合う。 ・600 字～800 字程度の論説文を書く。 ・読み手の立場に立って、文章を整える。 →■二次元コード■ ・完成した論説文を読み合う。 ・内容や構成について、よかったところや改善点などを伝え合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) ②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</u> (Bイ) ②「書くこと」において、 <u>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を</u> 考えて描写したりするなど、 <u>自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</u> (Bウ) <b>主</b> ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>漢字のしくみ 2</b> <b>熟語の読み</b>  1 時間 ◎熟語の読みについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 熟語の読みを音と訓の組み合わせのパターンから分類的に理解する。 2 同音異義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ① <u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字</u> を読んでいる。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑧</b>  1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ① <u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字</u> を読んでいる。 <u>また、学年別漢字配当表に示されている漢字</u> を書き、 <u>文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つめる	<b>走れメロス</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑧</b> <b>心情把握</b>  コラム <b>「走れメロス」と</b> <b>シラーの「人質」</b> コラム <b>太宰治の世界</b> 5時間  ◎文章の構成や展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。(Cエ) ◎登場人物の人物像について、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物設定と物語の展開を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・メロスとディオニスの人物設定を捉える。 ・メロスが出会った困難を箇条書きで整理する。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		3	2 場面の展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。 ・メロスの心情の変化を捉える。 → <b>読み方を学ぼう⑧</b> 心情把握 <b>■二次元コード■</b> ・心情を表す表現の効果について考える。	<b>主</b> ・進んで表現の効果について考え、自分の考えを広げたり深めたりして、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。		
		<b>漢字を身につけよう⑨</b> 1時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 → <b>■二次元コード■</b>	<b>知・技</b> ①第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>情報誌</b> <b>地域の魅力を振り返って</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間  ◎集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。(Aア) ◎地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。(Bエ)	1-2   3-4   5-8	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、企画を立てる。 ・テーマ別にグループを編成する。 ・グループごとに編集会議を行って、企画書をまとめる。 2 情報収集を行い、レイアウトを決める。 ・情報収集の計画を立てる。 ・記事を書くための調査や取材、資料や図版の収集、原稿依頼などを行う。 ・収集した情報をもとに、編集会議を開き、レイアウトを決める。 3 記事を書いて誌面を作り、発表会を開く。 ・レイアウトに従って、分担して記事を書く。 ・記事が完成したら、表紙と編集後記を作成する。 ・印刷する前に、全てのページを読み合っ て推敲する。 ・印刷・製本した雑誌を用いて、クラスで発表会を開く。 →資料編「手紙・はがき・メールの書き方」 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2イ)  <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)  <b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(Aイ)  多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>歌の言葉</b> <b>宿命</b>	-	-	-	-